

横浜市南地区センター及び老人福祉センター横浜市南寿荘指定管理者公募要項

横浜市南地区センター及び老人福祉センター横浜市南寿荘の指定管理者(管理運営を実施する団体)を公募します。

1 指定管理者制度について

多様化する市民ニーズにより効果的・効率的に対応するため、民間の能力を活用しつつ、市民サービスの向上と経費の節減等を図ることを目的として、平成15年6月の地方自治法改正により指定管理者制度が導入されたことで、それまで公共団体等に限られていた「公の施設」の管理運営について、企業及びNPO法人等を含む幅広い団体に委ねることが可能となりました。

南区(以下「区」という。)では、令和4年4月1日から横浜市南地区センター及び老人福祉センター横浜市南寿荘の管理運営を行う指定管理者の選定にあたり、次のとおり広く事業者を公募し、管理運営について創意工夫のある提案を募集します。

2 公募の概要

(1) 公募対象施設

ア 名称

横浜市南地区センター及び老人福祉センター横浜市南寿荘

※上記2施設による合築施設(通称「南センター」)を一体で管理運営する指定管理者を募集します。

イ 所在地

横浜市南区南太田2-32-1

ウ 施設概要

詳細は「横浜市南地区センター及び横浜市南寿荘指定指定管理業務 特記仕様書」を参照

構造 鉄筋コンクリート造

階数 地上3階地下1階建て

延床面積 2,624.66㎡

(うち 南地区センター1,699.58㎡、南寿荘925.08㎡)

施設内容 「南地区センター」1階:体育館、プレイルーム、図書コーナー、ロビー、事務室

2階:余暇コーナー、趣味コーナー、会議室、茶室、和室、調理室、大広間、ロビー

3階:中・小会議室、講義室、娯楽コーナー

「南寿荘」1階:健康相談室、機能訓練室

2階:大広間、ロビー

3階:娯楽コーナー

屋外:ゲートボール場

(2) 指定期間

令和4年4月1日から令和9年3月31日まで(5年間)

(3) 指定管理者の公募及び選定の方式

指定管理者の公募及び選定は、「横浜市南区地区センター及び横浜市南寿荘の指定管理者の候補者の選定等に関する要綱」に基づき、公募型プロポーザル方式による提案審査を行い、選定委員会の意見を尊重して、指定管理者の候補者（以下、「指定候補者」という。）及び指定候補者を指定管理者として指定できない場合に指定候補者に代わって指定候補者となる者（以下、「次点候補者」という。）を選定します。

(4) 選定委員会の設置

横浜市地区センター条例第13条の規定により「横浜市南区地区センター及び横浜市南寿荘指定管理者選定委員会」を設置し、審査基準に基づいて書類審査及び面接審査等を行います。

(5) 審査結果等の通知及び公表

審査結果は、応募者に対して速やかに通知します。

また、審査の経過及び結果は、指定候補者として選定後、区のホームページへの掲載等により公表します。

(6) 協定の締結

区は、指定候補者と細目について協議を行い、その後、市会の議決を経て指定管理者として指定された後に、基本協定を締結します。

また、毎年度、指定管理料の金額等に関する年度協定を締結します。

(7) 問合せ先

〒232-0024 横浜市南区浦舟町2-33

横浜市南区役所地域振興課 指定管理者選定事務担当：飛留間・前田

電話：045-341-1237 FAX：045-341-1240

E-mail：mn-shisetsu@city.yokohama.jp

3 地区センター等について

(1) 地区センター

地区センターは、横浜市地区センター条例に基づき、地域住民が、自らの生活環境の向上のために自主的に活動し、スポーツ、レクリエーション、講演会、研究会、サークル活動などを通じて相互の交流を深めることを目的として設置しています。（横浜市地区センター条例第1条・第2条）

地区センターのほか、コミュニティハウス、集会所、スポーツ会館などの施設が“地区センター”として条例に位置付けられています。

これらの施設を利用した様々な活動をきっかけに、地域コミュニティの醸成や地域の連携を図っていただくため、幼児からお年寄りまでの幅広い層の市民が気軽に利用できる施設です。

(2) 老人福祉センター

「老人福祉センター」は、「老人福祉法（昭和38年法律第133号）第20条の7で定める目的を実現するため」に設置される施設です。（横浜市老人福祉施設条例第3条3項第1号）

高齢者の社会活動を支援する場の提供、各種相談、並びに教養の向上及び趣味やレクリエーションの機会の提供、介護予防普及啓発事業を実施しています。

(3) 合築施設としての一体的な管理運営

本施設は、上記2施設の合築施設として整備し、一体での管理運営を行っているものです。今後も、指定管理者制度のもと、両施設それぞれの設置趣旨や施設機能を活かし、また合築施設としての特性を踏まえ、効果的かつ効率的な施設運営を行い、市民サービスの向上と利用促進に繋

げていきます。

4 指定管理者が行う業務の範囲

- (1) 南センターの利用の許可等に関する事。
- (2) 南センターの運営に関する事。
- (3) 横浜市地区センター条例第2条第2項に規定する事業の実施等に関する事。
- (4) 横浜市老人福祉施設条例第3条第3項に規定する事業の実施等に関する事。
- (5) 南センターの施設及び設備の維持管理に関する事。
- (6) その他、横浜市南地区センター及び老人福祉センター横浜市南寿荘指定管理業務仕様書のとおり

5 指定管理料

「地区センター」及び「老人福祉センター」の管理運営に係る人件費、事業費、事務費及び管理費等の経費に充てるため、横浜市は指定管理者に対して指定管理料を支払います。管理費には、建物、建物以外の工作物、土地及び設備（以下、「施設及び設備」という。）の維持保全に係る清掃、点検、運転・監視及び修繕等を含む修繕費の経費を含みます。

指定管理業務に係る経費は、応募時の提案額に基づき、会計年度（4月1日から翌年3月31日まで）ごとに横浜市の予算の範囲内で、区と指定管理者が協議して決定します。（予算は議決案件であり、各年度予算案の議決が条件となります。）支払時期や額、方法等は協定にて定めます。

各年度の指定管理料決定のための協議の際に、選定時の提案書で示された指定管理料の金額から減額する場合には、管理運営や事業内容等（開館日数や開館時間の変更を含む。）に関して、横浜市と指定管理者の間で協議を行うこととします。

なお、指定管理者による管理運営が、公募要項や協定で定めた水準を満たさなかった場合には、指定管理料の減額を行う場合があります。

賃金水準の変動への対応については、提案された人件費のうち給与等賃金水準の変動による影響を受けるものを、賃金水準の変動に応じて見直すことで、2年目以降の指定管理料に反映していきます。（以下、この仕組みを「賃金水準スライド」という。）

このため、収支予算書等に記入する人件費のうち給与等、賃金水準スライドの対象となるものについては、基礎単価と各年度の配置予定人員を乗じた額を記入してください。

なお、賃金水準スライドの対象外の人件費については、必要額を積算して記入してください。

賃金水準スライドの詳細については、別添「指定管理者制度における賃金水準スライドの手引き」を参照してください。

小破修繕については、指定管理者が修繕費を負担するものとし、1件あたり60万円（消費税及び地方消費税含む）未満を対象とし、指定管理者が負担します。ただし、指定期間終了後の買取は求めないことを条件に、区との協議に基づき執行する場合はこの限りではありません。

6 公募及び選定のスケジュール

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| (1) 公募要項の配布期間 | 令和3年5月11日（火）～令和3年7月2日（金） |
| (2) 応募者説明会及び現地見学会 | 令和3年5月27日（木） |
| (3) 公募要項等に関する質問受付 | 令和3年5月27日（木）～令和3年6月4日（金） |
| (4) 質問に対する回答日 | 令和3年6月23日（水） |
| (5) 応募書類の受付期間 | 令和3年6月28日（月）～令和3年7月2日（金） |
| (6) 審査・選定（面接審査実施） | 令和3年8月下旬 |

- | | |
|-----------------|---------------|
| (7) 選定結果の通知・公表 | 令和3年9月中旬 |
| (8) 指定管理者の指定 | 令和3年12月下旬（予定） |
| (9) 指定管理者との協定締結 | 令和4年2月下旬（予定） |

7 応募に関する事項

(1) 応募者説明会及び現地見学会

応募方法、応募書類の記載方法等に関する説明会を開催します。応募を予定される団体は、応募者説明会に必ずご参加ください。なお、現地見学会は希望する団体のみご参加ください。ついては、当日は、公募要項等の資料は配布しませんので、横浜市南区役所ホームページから資料をダウンロードする等、各自でご持参ください。なお、説明会終了後現地見学会を行います。

ア 応募者説明会（必須）

- ・日 時：令和3年5月27日（木） 15時00分～15時30分
- ・場 所：南区役所6階地域振興課（61番窓口） ※応募団体へ別途ご連絡します。

イ 現地見学会（希望制）

- ・日 時：令和3年5月27日（木） 16時30分～17時00分
- ・場 所：南センター

ウ 共通

- ・参加人数：各団体2名以内とします。
- ・申込方法：参加を希望される団体は、令和3年5月20日（木）までに、「横浜市南地区センター及び横浜市南寿荘 指定管理者応募者説明会及び現地見学会申込書」をFAX又はE-mailで南区地域振興課に送付してください。
 （FAXの場合は、送信後に担当まで電話で着信確認をしてください。）
 （※当日は、駐車場が限られますので、公共交通機関を御利用ください。）

(2) 質問の受付及び回答

公募要項等の内容に関する質問について、次のとおり質問書により受け付けます。

- ・受付期間：令和3年5月27日（木）～令和3年6月4日（金）
- ・受付先：横浜市南区地域振興課
 FAX：045-341-1240
 E-mail:mn-shisetsu@city.yokohama.jp
- ・質問方法：FAX又はE-mailで「横浜市南地区センター及び横浜市南寿荘の指定管理者公募要項等に関する質問書」を、上記受付先に送付してください。（FAXの場合は、送信後に担当まで電話で着信確認をしてください。）なお、電話でのお問い合わせには応じかねますのであらかじめご了承ください。
- ・回答：令和3年6月23日（水）までに、横浜市南区役所ホームページへの掲載により回答します。

※南区役所ホームページURL：https://www.city.yokohama.lg.jp/minami/kusei/shiteikanrisha/kokaido/minami/kobo_minamiCC_04.html

(3) 応募者の資格

指定期間中、安全かつ円滑に対象施設を管理運営することのできる法人その他の団体（複数の団体が共同する共同事業体を含む。）とします。法人格は必須ではありませんが、個人での申請はできません。

(4) 欠格事項

次に該当する団体は、応募することができません。

- ア 地方自治法施行令第167条の4の規定により横浜市における入札の参加資格を制限されていること
- イ 法人税、法人市民税、消費税及び地方消費税等の租税を滞納していること
- ウ 労働保険（雇用保険・労災保険）及び社会保険（健康保険・厚生年金保険）への加入の必要があるにも関わらず、その手続きを行っていないもの
- エ 会社更生法・民事再生法による更生・再生手続中であること
- オ 当該指定管理者の選定を行う選定委員が、応募しようとする団体の経営又は運営に直接関与していること
- カ 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。）又は暴力団経営支配法人等（横浜市暴力団排除条例（平成23年12月横浜市条例第51号）第2条第5号に規定する暴力団経営支配法人等をいう。）であること

※本項目について、横浜市が神奈川県警察本部に対し調査・照会を行うため、別添の「役員等氏名一覧表」（様式11）を提出してください。

- キ 指定管理者の責に帰すべき事由により、2年以内に指定の取消を受けたものであること
- ク 2年以内に労働基準監督署から是正勧告を受けていること（仮に受けている場合には、必要な措置の実施について労働基準監督署に報告済みでないこと）

※共同事業体の場合には、構成するすべての団体が前記いずれの欠格事項に該当しないとともに、応募時に、「共同事業体の結成に関する申請書（様式12）」を提出することとします。また、選定後協定締結までに、代表団体及び責任分担を明確に定めた組合契約を締結し、組合契約書の写しを提出することとします。

(5) 応募手続きについて

ア 応募書類

- (ア) 横浜市南地区センター指定申請書（様式1ーア）、及び老人福祉センター横浜市南寿荘指定申請書（様式1ーイ）
- (イ) 横浜市南地区センター及び老人福祉センター横浜市南寿荘指定管理者事業計画書（様式2）
- (ウ) 横浜市南地区センター指定管理者自主事業計画書（様式3ーア）、及び横浜市南地区センター指定管理者自主事業別計画書《単票》（様式4ーア）
- (エ) 老人福祉センター横浜市南寿荘指定管理者自主事業計画書（様式3ーイ）、及び老人福祉センター横浜市南寿荘指定管理者自主事業別計画書《単票》（様式4ーイ）
- (オ) 横浜市南地区センター 令和4年度収支予算書（兼指定管理料提案書）（様式5ー①ーア、5ー②ーア、5ー③ーア）、及び老人福祉センター横浜市南寿荘 令和4年度収支予算書（兼指定管理料提案書）（様式5ー①ーイ、5ー②ーイ、5ー③ーイ）
- (カ) 賃金水準スライドの対象となる人件費に関する提案書（様式6）
※「指定管理者制度における賃金水準スライドの手引き」より
- (キ) 欠格事項に該当しない宣誓書（様式7）
- (ク) 応募団体の定款、寄附行為、規約又はこれらに類する書類
- (ケ) 当該法人の登記事項証明書（法人の場合）
- (コ) 応募団体の、指定申請書を提出する日の属する事業年度の収支予算書及び事業計画書並びに前事業年度の収支計算書及び事業報告書（様式自由）
- (サ) 税務署発行の納税証明書[その3の3]

※法人税、消費税及び地方消費税について未納の税額の無いことの証明書です。

(シ) 横浜市税の納税状況調査の同意書(様式8)

※応募時点で横浜市に対して納税義務のない団体についても提出の必要があります。なお、指定管理者として指定された後は、この同意書をもとに、毎年度横浜市への納税状況(横浜市の課税状況の有無を含め)について状況調査を行います。

(ス) 法人税及び法人市民税の課税対象となる収益事業等を実施していないことの宣誓書(様式9)

※公益法人又は人格のない社団等で、収益事業等を実施していないことにより法人税・法人市民税の申告義務がなく、かつ実際に申告税額がない場合に、提出の必要があります。

(セ) 労働保険(労災・雇用)の加入を確認できる書類:労働局、労働基準監督署又は労働保険事務組合発行の労働保険料の領収書の写し(直近の1回分)等

(ソ) 健康保険の加入を確認できる書類:年金事務所又は健康保険組合発行の健康保険料の領収書の写し(直近の1回分)等

(タ) 厚生年金保険の加入を確認できる書類:年金事務所又は健康保険組合発行の厚生年金保険料の領収書の写し(直近の1回分)等

※加入の必要がないため、(セ)・(ソ)・(タ)のいずれかの領収書の写し等の提出ができない場合は、「労働保険・健康保険・厚生年金保険の加入の必要がないことについての申出書」(様式10)を提出してください。

(チ) 貸借対照表、損益計算書、財産目録等(直近3か年の事業年度分)

※任意団体にあつてはこれらに類する書類

(ツ) 団体の現在の組織、人員体制を示す人事労務関係の書類(就業規則、給与規定等)

(テ) 設立趣旨、事業内容のパンフレット等団体の概要がわかるもの

(ト) 役員等氏名一覧表(様式11)(イ 提出方法・部数【※注】参照)

※共同事業体を結成して応募する場合には、さらに次の書類を提出してください。

(ナ) 共同事業体の結成に関する申請書(様式12)

(ニ) 共同事業体連絡先一覧(様式13)

※共同事業体として応募する場合には、代表団体を決め、代表団体が応募書類を提出してください。

ただし、応募書類のうち(キ)～(ト)については、全ての構成団体について提出いただきます。

※その他、必要に応じて、追加で書類の提出を求める場合があります。

イ 提出方法・部数

以下を持参により提出してください。(郵送、E-mail等での提出は受け付けません。)

① 正本(1部) … 応募書類をアから順に並べ、クリップ留め

② 副本(4部) … 応募書類をアから順に並べ、ページ数及び「ア」～「ナ」のインデックスを付し、ファイリング

③ 副本(6部) … 応募書類をアから順に並べ、ページ数及び「ア」～「ナ」のインデックスを付し、応募団体が特定できないように(黒塗り等)してファイリング

※注(様式11)については、印刷・押印済みの原本1部(写しは不要です)及び様式のデータ(CD-R等)を提出してください。

ウ 公募要項等の配布

(ア) 配布期間

令和3年5月11日(火)～令和3年7月2日(金)

(南区役所開庁時間:土曜・休日・祝日を除く午前8時45分～午後5時)

(イ) 配布場所

〒232-0024 横浜市南区浦舟町2-33 南区役所地域振興課(区役所6階61番窓口)

南区役所ホームページからもダウンロードができます。

南区役所ホームページURL : https://www.city.yokohama.lg.jp/minami/kusei/shiteikanrisha/kokaido/minami/kobo_minamiCC_04.html

エ 応募書類(指定申請書等)提出期限

令和3年6月28日(月)～令和3年7月2日(金)

(南区役所開庁時間:土曜・休日・祝日を除く午前8時45分～午後5時)

オ 提出先

〒232-0024 横浜市南区浦舟町2-33 南区役所地域振興課(区役所6階61番窓口)

カ 提出方法

南区役所地域振興課まで、持参いただくか又は記録が残る送付方法(簡易書留等)でご提出ください。(提出期間内必着)

(6) 留意事項

ア 接触の禁止

選定委員会委員、横浜市職員その他の本件関係者に対して、本件応募について直接・間接を問わず接触を禁じます。

イ 重複応募の禁止

同一案件に対して、複数案の応募に参画することはできません。

ウ 応募内容変更・追加の禁止

提出された書類の内容の変更又は書類の追加はできません。ただし、選定委員会が認めた場合はこの限りではありません。

エ 団体職員以外の者による、次の行為の禁止

応募にあたって、応募団体(共同事業体にあたっては、構成団体)の職員以外の者が、次の行為を行うことを禁止します。

(ア) 指定管理者応募者説明会及び現地見学会への代理出席

(イ) 事業計画書等応募書類の作成(ただし、作成に関する技術的な助言等は除く)

(ウ) 選定委員会の面接審査への出席

オ 応募者の失格

応募者が次の事項に該当した場合は、失格となることがあります。

① ア～エの禁止事項に該当するなど、公募要項に定める手続を遵守しない場合

② 応募書類に虚偽の内容を故意に記載した場合

カ 応募書類の取扱い

応募書類は理由のいかんを問わず返却しません。

キ 関係書類の著作権

区(横浜市)が提示する設計図書(平面図等)の著作権は区(横浜市)及び設計者に帰属し、団体の提出する応募書類の著作権は作成した団体に帰属します。

ク 情報の公開等

(ア) 応募書類について

指定管理者及び指定候補者の応募書類については、「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」に基づく情報開示請求が提出された場合は、原則として請求に基づき請求者に開示されます。

また、指定管理者となった団体の応募書類（事業計画書、指定管理料提案書・収支予算書、団体の概要等）については、議決後公表します。

その他、区（横浜市）が必要と認めるときには、応募書類の全部又は一部を使用できるものとします。

（イ） 審査の経過及び選定結果について

審査の経過並びに指定候補者及び次点候補者の選定結果（名称・点数）については、区のホームページで公表します。

ケ 応募の辞退

正当な理由がある場合に限り、応募書類を提出した後に辞退することを認めます。その際には、辞退届を提出してください。

コ 費用負担

応募に関して必要となる費用は応募団体の負担とします。

サ 団体の重要事項の変更

応募しようとする団体が、応募後に法人格等を変更（※）する可能性のある場合（応募時に法人化等の手続き中である場合など）は、必ず応募前に区と相談してください。

※法人格の変更とは、法人格を有していない団体が法人格を取得する場合、法人格の種類を変更するなど、法人格の一部を変更する場合も含まれます。

シ 公募要項等の承諾

応募者は、応募書類の提出をもって、公募要項、指定管理業務仕様書及び指定管理業務特記仕様書の記載内容を承諾したものとみなします。

8 審査及び選定に関する事項

（1） 審査方法

指定管理者の選定は、公募型プロポーザル方式により、「横浜市南区地区センター及び横浜市南寿荘指定管理者選定委員会」において提案審査を行い、選定委員会の意見を尊重して、指定候補者及び次点候補者を選定します。選定にあたっては、応募者の応募書類及び面接審査等の内容を、指定管理者評価基準項目（別添）に基づき総合的に審査します。

また、面接審査では、プレゼンテーションを行っていただき、それに対する質疑を行いますので、団体の代表者その他の職員2名（合計3名）までの出席をお願いします。面接審査に係る詳細は後日応募団体にお知らせします。

（2） 選定委員会

【横浜市南区地区センター及び横浜市南寿荘指定管理者選定委員会】（敬称略）

麻尾 久子 （ 子育て支援者 ）

小野澤 寿一 （ 税理士 ）

坂本 今朝幸 （ 南区スポーツ推進委員連絡協議会会長 ）

鈴木 伸治 （ 横浜市立大学教授 ）

吉川 昌代 （ 南区青少年指導員協議会副会長 ）

（3） 会議の公開

選定委員会の会議は、原則公開とします。ただし、公開しないことが適当であると選定委員会が判断した場合は、会議の一部又は全部を公開しないこととします。

（4） 評価基準項目

別添「横浜市南地区センター及び老人福祉センター横浜市南寿荘指定管理者選定の評価基準項目」

のとおり

※財務状況の評価が著しく悪い場合は、選定から除外する場合があります。

※指定候補者及び次点候補者となるためには、選定委員会の定める最低基準点（加減点項目を除く評価基準項目の合計170点満点の6割以上）を満たすことが必要です。最低基準に満たない場合は、応募団体が1団体のみであっても指定候補者として選定せず、再度公募を行います。

9 選定結果の通知及び指定手続き等

(1) 選定結果の通知

選定結果については、令和3年9月中旬に、全応募団体に文書で通知します。

ア 指定候補者（1位団体）への通知：指定候補者の名称・点数

イ 次点候補者（2位団体）への通知：指定候補者及び次点候補者の名称・点数

ウ 3位以下の団体への通知：指定候補者、次点候補者及び当該団体の名称・点数

(2) 指定の手続き

指定候補者については、地方自治法の規定に基づき、指定管理者として指定する議案を市会に対し提出し、議決後に指定管理者として指定します。

指定にあたっては、指定管理者として指定した団体へ文書で通知するとともに、横浜市公告式条例（昭和25年横浜市条例第35号）の定めるところにより公告します。

(3) 協定の締結

区は、指定候補者と細目について協議を行い、その後、指定候補者が市会の議決を経て指定管理者として指定された後に、基本協定を締結します。

また、毎年度、指定管理料の金額等に関する年度協定を締結します。

(4) 協定の主な内容

協定の内容は概ね次のとおりとします。詳細については別添の基本協定書（素案）を御確認ください（※最終的な内容は指定候補者に提示します）。

ア 管理運営業務の範囲及び実施に関する事項

イ 指定期間に関する事項

ウ 利用の許可等に関する事項

エ 事業計画書に記載された事項

オ 利用料金及び減免等に関する事項

カ 横浜市が支払うべき経費等に関する事項

キ 施設内備品の管理等に関する事項

ク 管理運営業務に関し保有する個人情報の保護等に関する事項

ケ 利用状況及び事業報告等に関する事項

コ 業務の評価等に関する事項

サ 指定の取消及び管理業務の停止等に関する事項

シ 損害賠償等に関する事項

ス 地区センター委員会の設置等に関する事項

セ その他区長が必要と認める事項

(5) 指定候補者の変更

市会の議決を得られないとき、又は指定手続の過程で指定候補者を指定管理者に指定することが著しく不適当と認められる事情が生じたとき等の場合には、指定候補者を指定管理者に指定しないことがあります。

この場合、区は、次点候補者と協議を行い指定管理者の候補者として繰上げ、市会の議決を経て指定管理者として指定するものとします。

なお、市会の議決を得られず指定候補者を指定管理者として指定しないこととした場合においても、当該施設にかかる業務及び管理の準備のために支出した費用等については、一切補償しません。

10 添付資料

- (1) 地区センター指定申請書（様式 1-ア）、及び老人福祉センター指定申請書（様式 1-イ）
 - (2) 横浜市南地区センター及び老人福祉センター横浜市南寿荘 指定管理者事業計画書（様式 2）
 - (3) 横浜市南地区センター指定管理者自主事業計画書（様式 3-ア）、及び横浜市南地区センター指定管理者自主事業別計画書《単票》（様式 4-ア）
 - (4) 老人福祉センター横浜市南寿荘指定管理者自主事業計画書（様式 3-イ）、及び老人福祉センター横浜市南寿荘指定管理者自主事業別計画書《単票》（様式 4-イ）
 - (5) 横浜市南地区センター 令和 4 年度収支予算書（兼指定管理料提案書）（様式 5-①-ア、5-②-ア、5-③-ア）、及び老人福祉センター横浜市南寿荘 令和 4 年度収支予算書（兼指定管理料提案書）（様式 5-①-イ、5-②-イ、5-③-イ）
 - (6) 賃金水準スライドの対象となる人件費に関する提案書（様式 6）
 - (7) 欠格事項に該当しない宣誓書（様式 7）
 - (8) 横浜市税の納税状況調査の同意書（様式 8）
 - (9) 法人税及び法人市民税の課税対象となる収益事業等を実施していないことの宣誓書（様式 9）
 - (10) 労働保険・健康保険・厚生年金保険の加入の必要がないことについての申出書（様式 10）
 - (11) 役員等氏名一覧表（様式 11）
 - (12) 共同事業体の結成に関する申請書（様式 12）
 - (13) 共同事業体連絡先一覧（様式 13）
- ※(12)、(13)は、共同事業体を結成して応募する場合に使用
- (14) 横浜市南地区センター及び老人福祉センター横浜市南寿荘の指定管理者公募要項等に関する質問書（※質問時に使用）
 - (15) 辞退届（※応募書類提出後に辞退する際に使用）
 - (16) 横浜市南地区センター及び老人福祉センター横浜市南寿荘指定管理者応募者説明会及び現地見学会申込書
 - (17) 横浜市南地区センター及び老人福祉センター横浜市南寿荘指定管理者選定の評価基準項目
 - (18) 横浜市南地区センター及び老人福祉センター横浜市南寿荘指定管理業務 仕様書
仕様書別紙 1 個人情報取扱特記事項、個人情報保護に関する誓約書、研修実施報告書
別紙 2 リスク分担表
参考資料 維持管理業務一覧
 - (19) 横浜市南地区センター及び老人福祉センター横浜市南寿荘指定管理業務 特記仕様書（施設概要及び業務基準）
 - (20) 指定管理者制度における賃金水準スライドの手引き
 - (21) 参考資料（※地区センター条例、施行規則、基本協定書（素案）、その他）

11 その他

(1) 課税に関する留意事項

会社等の法人にかかる市民税、事業を行う者にかかる事業所税、指定管理者が新たに設置した償却

資産にかかる固定資産税等の納税義務者となる可能性がありますので、財政局主税部法人課税課にお問い合わせください。なお、国税については税務署、県税については県税事務所へお問い合わせください。

(2) 指定の取消等

指定管理者が行う施設の管理の適正を期するために横浜市が行う指示に従わないとき、その他指定管理者による管理を継続することが適当でないと認められるときは、地方自治法第244条の2第11項の規定に基づき、指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ずることがあります。

指定取消又は管理業務の停止を行う必要がある場合の例として、次のようなものが考えられます。

- ① 当該施設の設置条例又は協定の規定に違反したとき
- ② 地方自治法第244条の2第10項の規定に基づく報告の要求又は調査に対して、これに応じず又は虚偽の報告を行い、若しくは調査を妨げたとき
- ③ 地方自治法第244条の2第10項の規定に基づく指示に従わないとき
- ④ 当該施設の指定管理者公募要項に定める資格要件を失ったとき
- ⑤ 応募の際に提出した書類の内容に虚偽があることが判明したとき
- ⑥ 指定管理者の、経営状況の悪化や組織再編行為等により管理業務を継続することが不可能又は著しく困難になったと判断されるとき
- ⑦ 指定管理者の、指定管理業務に直接関わらない法令違反等により、当該団体に管理業務を継続させることが、社会通念上著しく不相当と判断されるとき
- ⑧ 指定管理者の責に帰すべき事由により管理業務が行われないとき
- ⑨ 不可抗力（暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地すべり、落盤、火災、戦乱、内乱、テロ、侵略、暴動、ストライキ及び伝染病・感染症の流行などの横浜市又は指定管理者の責に帰することのできない自然的又は人為的な現象を言う）により管理業務の継続が著しく困難になったと判断されるとき
- ⑩ 指定管理者から、指定の取消又は管理業務の全部若しくは一部の停止を求める書面による申し出があったとき
- ⑪ 当該施設が、公の施設として廃止されることとなったとき
- ⑫ その他、横浜市が当該指定管理者による管理を継続することが適当でないと認めるとき

指定管理者の責に帰すべき事由により指定取消又は管理業務の停止を行った場合には、指定管理料の減額、既に支出した指定管理料の返還又は横浜市に損害が発生した場合の損害賠償の支払い等を求めることがあります。

また、指定管理者が、横浜市の実施する指名競争入札に参加する資格を有する者であり、指定期間中に「横浜市指名停止等措置要綱」に定める措置要件に該当するときは、同要綱に基づく指名停止を行います。

12 問い合わせ先（事務担当）

〒232-0024 横浜市南区浦舟町2-33

横浜市南区役所地域振興課 指定管理者選定事務担当：飛留間・前田

電話：045-341-1237 FAX：045-341-1240

E-mail：mn-shisetsu@city.yokohama.jp

個人情報取扱特記事項

(平成27年10月)

(個人情報を取り扱う際の基本的事項)

第1条 横浜市(以下「委託者」という。)がこの契約において個人情報(特定個人情報を含む。以下同じ。)を取り扱わせる者(以下「受託者」という。)は、個人情報の保護の重要性を認識し、この契約による事務を処理するための個人情報の取扱いにあたっては、横浜市個人情報の保護に関する条例その他個人情報の保護に関する法令等(特定個人情報を取り扱わせる者にあつては、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律及び横浜市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に関する条例を含む。以下同じ。)を遵守し、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報を適正に取り扱わなければならない。

(適正な管理)

第2条 受託者は、この契約による事務に係る個人情報の漏えい、滅失、き損及び改ざんの防止その他の個人情報の適正な管理のために必要な措置を講じなければならない。

2 受託者は個人情報の取扱いに関する規定類を整備するとともに、管理責任者を特定し、委託者に通知しなければならない。

3 受託者は、第1項の目的を達成するため、個人情報を取り扱う場所及び個人情報を保管する場所(以下「作業場所」という。)において、入退室の規制、防災防犯対策その他の安全対策を講じなければならない。

4 受託者は、委託業務に着手する前に前2項に定める安全対策及び管理責任体制について委託者に報告しなければならない。

5 受託者は、第2項及び第3項に定める受託者の安全対策及び管理責任体制に関し、委託者が理由を示して異議を申し出た場合には、これらの措置を変更しなければならない。なお、措置の変更に伴い経費が必要となった場合は、その費用負担について委託者と受託者とが協議して決定する。

(従事者の監督)

第3条 受託者は、この契約による事務の処理に従事している者に対し、この契約による事務に関して知り得た個人情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用しないよう必要かつ適切な監督を行わなければならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

(収集の制限)

第4条 受託者は、この契約による事務を処理するために個人情報を収集するときは、当該事務を処理するために必要な範囲内で、適正かつ公正な手段により収集しなければならない。

(目的外利用の禁止等)

第5条 受託者は、委託者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務に係る個人情報を当該事務を処理する目的以外に利用してはならない。

(複写、複製の禁止)

第6条 受託者は、あらかじめ委託者の指示又は承諾があった場合を除き、この契約による事務を処理するにあたって委託者から提供された個人情報が記録された、文書、図画、写真、フィルム及び電磁的記録(以下「資料等」という。)を複写し、又は複製してはならない。ただし、事務を効率的に処理するため、受託者の管理下において使用する場合はこの限りではない。

(作業場所の外への持出禁止)

第7条 受託者は、あらかじめ委託者の指示又は承諾があった場合を除き、この契約による事

務を処理するために委託者から貸与され、又は受託者が収集し、複製し、若しくは作成した個人情報記録された資料等（複写及び複製したものを含む。）について、作業場所の外へ持ち出してはならない。

（再委託の禁止等）

第8条 受託者は、この契約による事務を処理するための個人情報を自ら取り扱うものとし、第三者に取り扱わせてはならない。ただし、あらかじめ、委託者の書面による承諾を得た場合はこの限りではない。

2 受託者は、前項ただし書きの規定により個人情報を取り扱う事務を第三者（以下「再受託者」という。）に取り扱わせる場合には、再受託者の当該事務に関する行為について、委託者に対しすべての責任を負うものとする。

3 受託者は、個人情報を取り扱う事務を再受託者に委託し、又は請け負わせる場合には、受託者及び再受託者がこの規定を遵守するために必要な事項並びに委託者が指示する事項について、再受託者と約定しなければならない。

4 受託者は、前項の約定において、委託者の提供した個人情報並びに受託者及び再受託者がこの契約による事務のために収集した個人情報を更に委託するなど第三者に取り扱わせることを例外なく禁止しなければならない。

（資料等の返還）

第9条 受託者は、この契約による事務を処理するために委託者から貸与され、又は受託者が収集し、複製し、若しくは作成した個人情報記録された資料等を、この契約が終了し、又は解除された後直ちに委託者に返還し、又は引き渡すものとする。ただし、委託者が別に指示したときは、当該方法によるものとする。

（報告及び検査）

第10条 委託者は、委託契約期間中個人情報を保護するために必要な限度において、受託者に対し、個人情報の管理状況及び委託業務の履行状況について、報告を求めることができる。

2 委託者は、委託契約期間中個人情報を保護するために必要な限度において、情報の管理の状況及び委託業務の履行状況について、作業場所において検査することができる。

3 前2項の場合において、報告、資料の提出又は検査に直接必要な費用は、受託者の負担とする。ただし、委託者の故意又は過失により、過分の費用を要した分については、委託者がこれを負担しなければならない。

（事故発生時等における報告）

第11条 受託者は、個人情報の漏えい、滅失、き損及び改ざん等の事故が生じ、又は生ずるおそれがあることを知ったときは、速やかに委託者に報告し、委託者の指示に従うものとする。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

（研修の実施及び誓約書の提出）

第12条 受託者は、従事者に対し、個人情報を取り扱う場合に従事者が遵守すべき事項並びに従事者が負うべき横浜市個人情報の保護に関する条例その他個人情報の保護に関する法令等に基づく罰則の内容及び民事上の責任についての研修を実施し、個人情報保護に関する誓約書（様式1）及び研修実施報告書（様式2）を横浜市長に提出しなければならない。

2 受託者は、個人情報を取り扱う事務を再受託者に委託し、又は請け負わせる場合には、再受託者に対し、前項に定める研修を実施させ、個人情報保護に関する誓約書（様式1）及び研修実施報告書（様式2）を受託者に提出させなければならない。

3 前項の場合において、受託者は、再受託者から提出された個人情報保護に関する誓約書（様式1）及び研修実施報告書（様式2）を横浜市長に提出しなければならない。

（契約の解除及び損害の賠償）

第13条 委託者は、次のいずれかに該当するときは、この契約の解除及び損害賠償の請求をすることができる。

(1) この契約による事務を処理するために受託者又は再受託者が取り扱う個人情報について、

受託者又は再受託者の責に帰すべき理由による漏えいがあったとき。

- (2) 前号に掲げる場合のほか、この特記事項に違反し、この契約による事務の目的を達成することができないと認められるとき。

個人情報保護に関する誓約書

(提出先)

横浜市長

横浜市の個人情報を取り扱う事務に従事するにあたり、個人情報を取り扱う場合に遵守すべき事項並びに横浜市個人情報の保護に関する条例その他個人情報の保護に関する法令等に基づく罰則の内容及び民事上の責任についての研修を受講しました。

横浜市個人情報の保護に関する条例その他個人情報の保護に関する法令等及び個人情報取扱特記事項を遵守し、個人情報を適切に取り扱うことを誓約いたします。

研修受講日	所 属	担 当 業 務	氏 名 (自署又は記名押印)

年 月 日

(提出先)

横浜市長

(提出者)

団体名

責任者職氏名

研修実施報告書

横浜市個人情報の保護に関する条例第17条第1項の規定に従い、横浜市の個人情報を取り扱う事務に従事する者に対し、個人情報を取り扱う場合に遵守すべき事項並びに横浜市個人情報の保護に関する条例その他個人情報の保護に関する法令等に基づく罰則の内容及び民事上の責任についての研修を実施しましたので、別紙個人情報保護に関する誓約書(様式1)(全 枚)のとおり提出いたします。

引き続き個人情報の漏えい等の防止に取り組んでいきます。

リスク分担表

(仕様書 別紙2)

リスクの種類	内容	横浜市	指定管理者
法令などの変更	指定管理者が行う管理運営業務に直接影響を及ぼす法令等の変更	協議事項	
	指定管理者自らの団体運営に影響する法令変更		○
	その他の法令変更	協議事項	
物価	指定後のインフレ・デフレ		○※1
賃金水準	賃金水準の上昇による人件費の増加	○	
金利	金利の変動		○
資金調達	必要な資金確保		○
不可抗力※2	不可抗力による業務の変更、中止、延期、事件事故	協議事項	
申請コスト	申請に要する費用の負担		○
調査	事業の実現可能性等の調査		○
施設競合	他施設との競合による利用者減、収入減		○
需要変動	当初の需要見込みと異なる状況の発生		○
運営費の増大	横浜市以外の要因による運営費の増大		○
施設の損傷	指定管理者の管理上の瑕疵による建物、設備機器等の損傷及び指定管理者に属する備品の損傷		○
修繕	1件税込60万円未満		○
	1件税込60万円以上	○	
管理上の瑕疵による火災等事故	管理上の瑕疵による火災等事故		○
債務不履行	施設設置者(横浜市)の協定内容の不履行	○	
指定管理者による業務又は協定内容の不履行	指定管理者による業務又は協定内容の不履行		○
性能リスク	提供するサービスの協定書要求水準不適合		○
近隣対策	本業務に起因する公害、生活環境の阻害あるいは利用者等による迷惑行為等		○
利用者等への損害賠償	指定管理者に帰責事由があるもの		○
	上記以外のもの	協議事項	
管理運営内容の中断・中止・変更	指定管理者に帰責事由があるもの		○
	上記以外のもの	協議事項	
組織再編行為等	指定管理者の組織再編行為等により市に発生する費用		○※3
許認可等	市が取得すべき許認可等が取得・更新されないことによるもの	○	
	指定管理者が取得すべき許認可等が取得・更新されないことによるもの		○
市会議決	指定の議決が得られないことによる管理運営開始の延期		○

※1 著しい物価変動が発生し、収支計画に多大な影響を与えるものについては、別途協議する。

※2 暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地すべり、落盤、火災、戦乱、内乱、テロ、侵略、暴動、ストライキ及び伝染病・感染症の流行など

※3 ①次期指定管理者指定のために開催する選定委員会等の委員に支払う報酬等の費用

②組織再編行為等への対応のために必要となった弁護士等の専門家への相談に要する費用